

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成24年9月6日 (2012.9.6)

【公表番号】特表2009-542378(P2009-542378A)  
 【公表日】平成21年12月3日 (2009.12.3)  
 【年通号数】公開・登録公報2009-048  
 【出願番号】特願2009-518673(P2009-518673)  
 【国際特許分類】

A 6 1 J 17/00 (2006.01)

A 4 6 B 9/04 (2006.01)

A 6 1 J 17/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 J 17/00 A

A 4 6 B 9/04

A 6 1 J 17/00 B

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年7月23日 (2012.7.23)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

おしゃぶり (1) であって、

シールド (3) および吸着部 (2) が設けられており、該吸着部 (2) は、前記シールド (3) に隣接するシャフト (4) を備えており、該シャフト (4) に、前記シールド (3) とは反対側の端部区分 (8) で、吸着エレメント (5) が接続されており、該吸着エレメント (5) として膨らんだ吸着体 (12) が設けられており、該吸着体 (12) は、中空室 (10) を形成するために、閉じたボディ構造を有して形成されており、前記吸着部 (2) の輪郭は、前記シャフト (4) から出発してこん棒形状を有している形式のものにおいて、

前記シャフト (4) は、第 1 の横断面軸線の方向における第 1 の大きな延びと、第 2 の横断面軸線の方向における第 2 の短い延びとによって規定されたプレート状に形成されていて、該プレート状の前記シャフト (4) は、閉じたボディ構造を有する前記吸着体 (12) の中空室 (10) から前記シールド (3) の外面に通じる 1 つの通気路 (13') を除いて、口蓋もしくは歯の接触する領域において 1 つのボディから成り、かつ横断面で中実形成されていて、前記 1 つのボディから成るシャフトの壁厚が、シャフトの第 1 の横断面軸線の方向において、前記シャフトの第 2 の横断面軸線の方向における前記シャフトの壁厚よりも大きいことを特徴とする、おしゃぶり。

【請求項 2】

前記シャフト (4) に、多数のマッサージエレメントもしくはクリーニングエレメント (6) が設けられている、請求項 1 記載のおしゃぶり。

【請求項 3】

前記マッサージエレメントもしくはクリーニングエレメント (6) は、プレート状の前記シャフト (4) に対して垂直に配置されている、請求項 2 記載のおしゃぶり。

【請求項 4】

前記マッサージエレメントもしくはクリーニングエレメント (6) として、節状の突出

物（７）が設けられている、請求項２または３記載のおしゃぶり。

【請求項５】

前記マッサージエレメントもしくはクリーニングエレメント（６）として、歯状の突出物（７'）が設けられている、請求項２または３記載のおしゃぶり。

【請求項６】

前記吸着体（９，１２）の縦軸線が、前記シャフト（４）の縦軸線に対して $30^{\circ} \sim 60^{\circ}$ の角度（ ）で傾斜して配置されている、請求項１から５までのいずれか１項記載のおしゃぶり。

【請求項７】

前記シャフト（４，４'）の壁厚が、 $0.8\text{ mm} \sim 3\text{ mm}$ の値を有している、請求項１から６までのいずれか１項記載のおしゃぶり。

【請求項８】

前記シャフト（４）は、縦延伸方向に対して横向きに延びる少なくとも１つの材料薄肉部（４''）を備えている、請求項１から７までのいずれか１項記載のおしゃぶり。

【請求項９】

前記吸着部（２）は、シリコン、ラテックスまたは熱可塑性エラストマから形成されている、請求項１から８までのいずれか１項記載のおしゃぶり。

【請求項１０】

前記シールド（３）は、熱可塑性材料から形成されている、請求項１から９までのいずれか１項記載のおしゃぶり。

【請求項１１】

前記シールド（３）および前記吸着部（２）は、２成分または多成分射出成形部品として一体的に形成されている、請求項１から１０までのいずれか１項記載のおしゃぶり。

【誤訳訂正２】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００１８

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００１８】

乳児もしくは幼児による吸着力の作用に関して、大体において閉じたボディ構造を有する膨らんだもしくは豆状の吸着体の圧力補償を実現するために、閉じたボディ構造を有する吸着体の、突出する露出した端部区分に、スリット状の開口が設けられている。選択的に、有利には閉じたボディ構造を有する吸着体の中空室からシャフトを介してシールドの外側に通じる通気路が設けられている場合には、閉じたボディ構造を有する吸着体の圧力補償も得られる。